

地域の  
取り組みを紹介

# 恒例行事「どんど焼き」で「リサイクル広場」と「資源とごみの出前講座」を開催しました



2018年1月13日に三輪緑山自治会で恒例の「どんど焼き」が行われました。今年初の試みとして、会場で「緑山リサイクル広場」と「資源とごみの出前講座」を同時に開催しました。その中で、パネルを使った講座や大判のかるたを使った「ジャンボ3Rかるた大会」をして遊びながら3Rについて勉強しました。



天気にも恵まれ、たくさんの来場者で会場はとても賑やかでした。



## 資源とごみの出前講座&ジャンボ3Rかるた大会

スケルトン収集車“みえるくん”を含め、パネルを使ったミニ講座やギター演奏、太鼓などで盛り上がりを見せました。用意した座席もほぼ埋まり、参加者は熱心に講座を聞き、3Rについて学びました。



後半は「ジャンボ3Rかるた大会」を開催。前半の講座で学んだことを活かして実力を発揮し、白熱した大会となりました。子どもから大人まで楽しく参加されて大盛況におわりました。

## 緑山リサイクル広場

長年にわたる開催で、恒例行事となっており、定着してきました。リサイクル広場を心待ちにしているお客さんも多く、今回も非常に多くの資源を回収することができました。



## 副会長である香田さんにインタビューしました



Q なぜ例年とは異なる出前講座の形式にしたのですか？

A 昨年までは「どんど焼き」終了後の午後に、集会所で「資源とごみの出前講座」を開催していました。しかし、毎年参加者が少なく、「もっと多くの人に参加してもらいたい」と思いました。そこで、スペースも広く、来場者が多い「どんど焼き」の会場でできないかと思いつきました。



Q なぜどんど焼きの会場で出前講座を開催しようと思ったのですか？

A 「どんど焼き」では、例年小さなお子さんを連れた家族や高齢の方が多くいらっしゃいますが、座ってゆっくり休む場所がなく、すぐ帰ってしまう方が多いのが現状でした。今回、イスを設置して休める場所を設ければのんびりできて、さらに出前講座にたくさんの方が参加してくれるのではないかと思います。3R推進課に「子どもたちが楽しみながら学べる講座」の依頼をしました。そして、「どんど焼き」の会場でパネルを使ったミニ講座、歌やかるたで遊びながら3Rについて学べる出前講座を開催することになりました。



Q 地域活動を企画するとき大事にしていることはありますか？

A ◇まずは参加してもらおう  
◇楽しんで帰ってもらい参加して良かったと思ってもらう  
◇次もまた来たいと思ってもらう  
この3つのポイントを意識して地域活動の企画をしています。

例年よりもたくさんの方が出前講座に参加してくれました。かるた大会では、親子で参加したり、用意したイスに座って見学するなど、様々な年代の方が集まり賑やかな会場となりました。大成功に終わってよかったです。



あなたの地域でもやってみませんか？  
お問い合わせは3R推進課まで



## エコバッグちゃんのこれってどうなの？ Vol.21

「東京2020大会のメダルづくりに参加しよう」の巻



### 説明

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」(主催:東京2020組織委員会)では使用済みの携帯電話や小型家電、パソコンから抽出した金などで東京2020大会に使用する約5000個のメダル作成に取り組んでいます。町田市でも携帯電話専用回収ボックスや小型家電回収ボックスを公共施設等に設置しています。パソコンについては宅配便による回収をご利用ください。

## 市民の作品を紹介



もったいないこと  
しませんりゅう  
川柳

ごみを減らそう！



市民を対象にごみ減量に向けた取り組みとして「3Rの推進」をテーマにした川柳を募集しました。楽しい作品がたくさん集まり、その中から100作品を選び、公共施設等で展示しました。また、14作品を市民バス「まちっこ」の中吊りとして展示しました。今後も広報やホームページ等への掲載など市のごみ減量啓発活動に使用していきます。

環境月間 (市庁舎1階イベントスタジオ)での展示 (2018/5/28~2018/6/8)



生涯学習センター(ミニギャラリー)での展示 (2018/6/12~2018/6/24)



市民バス「まちっこ」の中吊り展示 (2018/6/1~2018/6/30)



市民バス「まちっこ」

## 今回は4つの作品を紹介します

- よく見てね 使えるものと 捨てるごみ 匿名
- 限りある 資源を守る リサイクル ヨシオ
- 捨てる前 よく見て分けよう 資源ごみ 匿名
- ごみにする 資源にするか 君次第 雀の子